

「霞ヶ浦湖岸植物同好会」令和5年度活動計画

ける補助活動及び「いきもののにわ」の整備・観察学習活動とパートナー自主企画活動の「湖岸植物定点観察」を行う。

自然観察会は霞ヶ浦が育む豊かな自然に直接触れることにより、霞ヶ浦に興味・関心を持ち理解と親愛を深めてもらう目的で実施される。

湖岸植物定点観察は自然再生地を含む湖岸(下図)で、環境の変化等が植物相に及ぼす影響を見るため原則毎月第2水曜日に実施する。水辺の代表的な種、絶滅危惧種等の希少種、特定外来生物等は年間を通して生育状態や生活史、分布状況や消長などを継続観察する。毎月、観察の概要と共にこれらの花や実、冬芽(葉痕)や展葉など旬の植物写真に説明を付けて2階展示コーナーに掲示する。またこれまでの観察結果を活かしてヤナギトラノオ等希少種の保全活動をしたり、オオバナミズキンバイ等特定外来生物の防除に役立てたりする。



R4.10.16 自然観察会「霞ヶ浦でオオバナミズキンバイ(特外)を…」



アサザ(国準Ⅱ) R4.6.8H区再生地



カンエンガヤツリ(国Ⅱ県準) R4.11.9H区再生地



ミズヒマワリ(特外) R4.11.9H区再生地

湖岸植物定点観察の年間予定

活動年月日	原則第2水曜日
R5- 4-12	春季 9:00 集合
5-10	"
6-14	夏季 9:00 集合
7-12	"
8-9	"
9-13	秋季 9:00 集合
10-11	"
11-8	"
12-6(第1)	冬季 9:30 集合
R6-1-10	"
2-14	"
3-13	春季 9:00 集合
3-27	同好会打ち合わせ
(庭整備終了後～)	(R5年度まとめ・新年度の活動計画)

各区の特徴と注目種等

写真:霞ヶ浦河川事務所
挿入地図:川尻川周辺

(希少種・外来種等の略語表記)
I B, II 準: 絶滅危惧 I B 類, II 類,
準絶滅危惧
特外: 特定外来生物



A区:再生地(H19~工事)
北小池オニナルコスゲ,
南小池サジオモダカ(県
準), 南池ミズヒマワリ(特
外), 弁天前改修低地・
笹藪跡地(R2.3 施行)サジ
オモダカ(県準), ジョウロ
ウスゲ(国Ⅱ県準), カサ
スゲ, 弁天周囲オドリコソウ

- B区:(H25.3 引堤工事完了)(R3.3 月幅 3m低地盤上げ)(R5.2 低地一斉草刈)
タコアシ(国県準), ジョウロウスゲ(国Ⅱ県準), ミゾコウジュ(国Ⅱ県準)R4 出現,
ミズヒマワリ(特外), アレチウリ(特外)R4 裏法密生広範囲, 島(旧堤)セイタカヨシ(県準)
- H区:(H27-29 再生事業)事業前からある種:ヤナギトラノオ(国Ⅱ), ジョウロウスゲ(国Ⅱ
県準), ミクリ(国県準), ノアズキ(県準), セイタカヨシ(県準), オニナルコスゲ,
ドクゼリ, マツカサススキ, 事業中~後に出現した種:アサザ(国準Ⅱ), カンエン
ガヤツリ(国Ⅱ県準), タコアシ(国県準), カワヂシャ(国県準), ウスゲチヨウジ
タデ(国県準), フトイ, ヒロハノコウガイゼキショウ, サンショウモ(国Ⅱ県 I B), ノ
ニガナ(県準), ナガエツルノゲイトウ(特外:R4.9 初認), オオバナミズキンバイ(特
外), ミズヒマワリ(特外), オオフサモ(特外)
- E区:(H29-30:樹木を含めた広範囲の皆伐)
ノウルシ(国県準), セイタカヨシ(県準), ヤワラスゲ, ハンゲショウ, イヌドクサ,
アレチウリ(特外), ミズヒマワリ(特外), ナガエツルノゲイトウ(特外:R3.8 初認)
- G区: ノウルシ(国県準), ヌマアゼスゲ(国Ⅱ県 I B), マツモ(県準)堤脚水路
- J区:(H15 ウェットランド消波堤)ナガエツルノゲイトウ(特外:R3.7 初認)
- K区: アサマスゲ(国準Ⅱ I B), オグルマ, タンキリマメ(県Ⅱ), ヒメカジイチゴ
- L区:(川尻川沿)タンキリマメ(県Ⅱ), ヤブマオ, オオフサモ(特外)堤脚水路

(日程) 9:00 集合 (冬季は 9:30) 準備(記録用紙,カメラ他)
9:30~12:00 現地 12:15~昼食 12:45~13:00 新出種等確認
13:00~14:00 記録整理(写真名前付け・展示物選出)

「いきもののにわ」整備活動の予定

原則毎月第4水曜日 10:00~11:30 (集合 作業確認 作業・休憩 片付け)
作業内容:除草, 間引き, 移植, コンテナ・プランターの整理, 名札整備等
(霞ヶ浦湖岸植物同好会 パートナー 二階堂)